

北地域まちづくり新聞

かわら版

第111号

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域協働課

2022. 2. 1(如月)

ドライブシュミレーション～あなたの運転は大丈夫？～

12月6日(月)防犯・交通安全部会の部内研修会で、江南警察署職員を講師に迎え、交通安全意識の向上や自身の運転技術の再確認を目的に、ドライブシュミレーターを使用した研修を行いました。

高齢者の自動車事故が多発しています。「自分は大丈夫」と過信することなく、常に慎重に運転することを心掛けましょう。



【ドライブシュミレーション研修の様子】

ふれあい花壇 ～秋の花植え～

毎年、春と秋に行っている『ふれあい花壇』の秋の花植えを、11月13日(土)に仲沖地区、11月20日(土)に下小口地区、11月27日(土)に新宮地区、河北地区で行いました。

この花植えは、自治組織設立当初からの行事です。今回は、花色が豊富で寒さに強く開花時期が長いパンジーを植えました。苗の費用は、セブンイレブン記念財団の助成金、皆さんにご協力をいただいているペットボトルキャップ回収の売上金から成り立っています。



【新宮地区の様子】



～大口交番移転のお知らせ～

老朽化に伴い、目立ちやすい場所にするこで、
防犯・交通安全に対する抑止力に繋がるとの見方から、
大口中学校東側の交差点に移転しました。



私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

あなたの家庭と街で
”はたらく”機能部品メーカー

Time

タイム技研株式会社

本社 〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪 5-98
TEL (0587) 95-6661 (代)
URL <http://www.time-eng.co.jp/>

ガスの温もりを、かたちに。

Paloma

株式会社 パロマ 大口工場
〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪5-104

TEL (0587) 95-1251

防災標語入選作品～ご応募ありがとうございました～

北地域自治組織が募集した**防災標語**に多くの応募をいただきありがとうございました。北小学校では11月8日(月)の朝礼で表彰伝達があり、校長先生から入選者21名の皆さんに賞状を渡していただきました。西小学校の入選者6名には、直接届けました。※募集は大口北小学校(対象:4～6年生児童)及び大口西小学校(対象:竹田地区在住1～6年生児童)のご協力により行うことができました。

【大口北小学校(4～6年生)】

＜4年生＞

- ・火事じしん 物からはなれて みをまもろう
- ・大雨だ 外に行ったら あぶないよ
- ・地震だぞ まわりのものに きをつけろ
- ・手あらいマスク みんなが安心 感染症予防
- ・地しんのとき 頭を守ろう 第一に
- ・大雨の時 川の近くは あぶないよ
- ・地しんにそなえ さい害バッグを 用意する



＜5年生＞

- ・私が今できる事 手あらいしょうどく みつかいひ
- ・気をつけて 1人のゆだんが みんなを苦しめる
- ・感染症 手あらいうがい 予防しよう
- ・火事の時 はな口おおい せは低く
- ・ひなん場しょ いろんなことを たしかめよう
- ・地震では 家具を固定して 安全に
- ・地震来た 早くかくれて 身を守ろう



＜6年生＞

- ・地震がきたら ドアを開け シェイクアウト※ を真っ先に
- ・マスクして 手洗いうがい消毒し 一人の予防みんなを守る
- ・くる前に 水や食料 備えよう
- ・私を守る みんなを守る 手洗いうがい
- ・いざ災害 防災キット きっといる
- ・とつぜんの 地震にそなえ ぼうさいリュック
- ・歩いてみて 避難経路かくにん 家族とね



【大口西小学校(竹田地区在住1～6年生)】

- ・じしんがきたら あわてずひなんしよう
- ・さいがいは いのちゆうせん すぐにげろ
- ・マスクを正しくはめて よぼうしよう
- ・けいほうに みみをかたむけ みをまもれ
- ・みんなでね 手あらいうがい がんばろう
- ・常に 予防を心がけよう

- (1年生)
- (2年生)
- (3年生)
- (4年生)
- (5年生)
- (6年生)

※シェイクアウト…姿勢を低く、頭を守り、動かない

記念品

入選者27名には「河童ミニタオル(遠野市)」と「保存用ビスケット缶」を、また、応募者全員には参加賞としてクリアファイルと2色ボールペンを贈りました。

大口町社会福祉協議会と岩手県遠野市社会福祉協議会とは、災害時にお互い助け合う約束をしています。ミニタオルは、その遠野市に伝わる河童伝説を基にしたデザインです。



【河童ミニタオル】



【保存用ビスケット】

児童は学校で防災について学習しています。自身で学んだことを標語にしてもらいました。家庭でも、是非、防災について話し合う機会を持ちましょう。